



春の叙勲受章者

野球部の部長、監督に就任し、部活動を通じて心身ともに健康な生徒の育成に取り組みました。

昭和60年から3年間、園部高等学校の教頭として勤務の後、昭和63年には農芸高等学校の校長に就任。府内唯一の農業関係専門の学校の校長として農業教育の在り方の研究を重ね、時代に応じた学科改編、新設備の導入などを行いました。平成7年から2年間母校の園部高等学校の校長を勤められた後、退職。退職後は、平成9年から園部町教育委員、同教育委員長を歴任。合併後は初代南丹市教育委員会委員長に就任され、旧4町間で環境やニーズの異なる小中学校の児童生徒の学力向上や地域に根ざした学校づくりに手腕を発揮されました。



「高等学校教育発展に貢献」

瑞宝小綬章

奥村 功さん(園部町・73)

瑞宝双光章

「感交(観光)地づくりに尽力」

故・小馬 勝美さん(美山町)

昭和34年に美山町役場に奉職し、平成7年からは助役として8年間、地域の発展に貢献されました。「田んぼは四角に心は円く」を合言葉に、農林業振興や都市との交流に手腕を発揮。かやぶき民家や自然景観の保全を目指す「美しい町づくり条例」を制定し、飾らない郷土の魅力を大切にした「日本一の田舎づくり」を主導されました。平成15年には、府内で初めての国土交通省「むらおこし・交流・新産業おこしのカリスマ」に選ばれるなど、美山町の観光と連動したまちづくりや定住促進の礎を築かれました。

ご冥福を心からお祈りします。



「学校教育の充実に尽力」

瑞宝双光章

明田 嘉二郎さん(八木町・79)

昭和28年に殿田中学校に奉職以来、園部中学校、和知中学校で31年間にわたり教諭として、昭和56年からは和知中学校、殿田中学校の教頭として生徒指導や校長の補佐役として学校運営の円滑化に尽力。その卓越した指導力が認めら

れ昭和61年には神吉小学校校長に就任されました。児童数の減少により複式学級となった同校において、保護者や地域と連携をとり、地域に根ざした教育の実践に努められました。

また、吉富小学校では心身障害